

# 若者等活動拠点施設整備に向けた検討会(第5回)結果報告

日時 平成30年3月21日(水・祝)午前9時30分～11時15分

場所 高山市役所 地下 大会議室

出席者 検討メンバー 27名、今回初参加の高校生 2名  
事務局(高山市企画課、都市整備課、飛騨高山大学連携センター)6名

内容

## 1. あいさつ(開会) 田谷参事

- ・ 今回(第5回)が平成29年度最後の検討会となる。前回、これまでの議論の論点整理(案)として、施設整備の考え方を示させていただいた。その中で、建物や伝建地区に係る法的な制約など、説明してほしいとの声があった。
- ・ 今回、都市整備課の職員も検討会に参加させていただき、建築、景観などの関係について説明させていただく。その上で、前回示した論点整理案の修正版を説明させていただく。この内容についてグループ討議いただき、現段階での共通認識としてまとめたいと思う。
- ・ なお、文化財課職員については、本日都合により出席することができない。文化財的な観点からの説明については、改めて実施したいと思う。
- ・ グループ討議については、市職員も参加させていただき、色々と意見交換させていただくのでお願いしたい。

## 2. 各資料、論点整理(案)の説明

- ・ 山田係長より、「高山市の公共建築物のつくり方について(資料①)」を説明。
- ・ 保木係長より、「村半についての技術的、制度的、企画上の制約について(資料②)」を説明。
- ・ 田谷参事より、別紙資料「若者等活動拠点施設整備に係るこれまでの検討の論点整理(案)※修正版」について説明。

## 3. グループ討議

- ・ ワークショップの進め方の説明後、6つのグループに分かれグループ討議。その後、各グループから発表。
- ・ 市職員(6名)もそれぞれグループ討議に参加。

### Aグループ 6名

- ハード面については、特に異論はない。
- 駐輪場のスペースについて、敷地外(近隣)に設けるということであるが、敷地内の設置は必要ないのではないか。
- 若者等活動拠点施設のターゲットとなる施設利用者を明確にすべき。そのためには、高校生の意見をもっと聞いて検討を進めていけたら良い。
- ソフト面について、ベースの活動を何にするかで、その利用が決まってくるのでは。事業目的である若者等の拠点となるような活動をもっと検討する必要がある。

### Bグループ 6名

- ハード面については、大きな異論はない。
- ソフト面について、深夜まで続くような検討会・ワークショップなどの実施は、現段階で否定しない方がよい。
- レストランや劇場について、専用施設は設けないとのことであるが、料理のふるまいや映画上映などはできるとよい。具体的には、今後詰めていく必要がある。

### Cグループ 5名

- ハード面については特に異論は出なかった。
- 蔵を活用したホームシアターができるとよい。また、音楽の演奏など、蔵の防音性を活かした使い方も考えられる。
- 学生の勉強できるスペースとして和室を活用できるとよい。市立図書館は、大変静かで話しながら勉強することができない。この施設では、学生同士が教え合うなどの勉強場所として活用できるとよい。

### Dグループ 6名

- バリアフリーについて、エレベーターの設置は難しいのではないかと。利用者が相互に協力し、助け合って利用することによって、バリアフリーとしていければよい。
- 地域の方の大事な施設であり、祭の練習に使用することは大切なことである。
- 施設の強度に不安があるので、座談会などの利用を中心に活用するのがよい。
- 水回りの設備は重要であるので、しっかりとした整備をお願いしたい。

### Eグループ 6名

- 壁を断熱化するのは、技術的に難しいのではないかと。寒いことは予想されるが、あえて古民家を楽しむという視点があってもよい。
- 耐震補強については、外観を変えない程度に実施する必要がある、そのバランスが重要である。
- バリアフリーについては、Dグループと同じである。
- 2階の利用は、建築上の制約が多い。伝統建築を学ぶ場としての活用(見学)などに留めてはどうか。
- 台所はあまり大勢の利用を想定せず、10名くらいのグループが使える規模がよい。
- 建物はなるべく現状維持に努めてほしい。

### Fグループ 6名

- 非常階段を設置し、何とか2階は活用できるようにしたい。
- 施設使用については、利用者がしっかりと目的をもって使用してもらえるとよい。あまり閉鎖的すぎると利用しにくい施設となるので、留意が必要。
- 観光客の利用というよりは、市民利用を中心に考える必要がある。ただし、飲食、映画鑑賞などのイベント利用時に関しては、不特定多数の方を対象としてもよい。
- 事務所機能も必要ではないかと。事務所スペースを設置するということではなく、机と椅子程度の管理人が常駐できるところを確保できるとよい。

## 4. グループ討議まとめ 田谷参事

- ・ 耐震補強、断熱、バリアフリー、水回り、電気設備については、徹底して整備すべきなのか、あるいは、制限した方がよいのか、といった意見が多く聞かれた。これらについては、4月以降の検討

会で引き続き考えていきたい。

- 2階の活用について、そもそものところで、活用するのか、しないのかといったことを決めていく必要がある。これについても4月以降の検討会で考えていきたい。
- 駐輪場についても施設内に設けるか否かについて、同様に4月以降の検討会で考えていきたい。
- その他のハード部分はこの内容で異論はない。宿泊、レストランなどに特化した整備は行わないということ、専用設備・施設とはしないが、仮設によるイベント利用は妨げない、ということについては、特に異論はないことを確認した。
- 施設の活用方策については、引き続き4月以降の検討会にて議論を継続したい。

※上記まとめを会場内に確認を求めたところ、特に意見はなかった。

## 5. 閉会

- 平成30年度については、改めて検討会メンバーに対し、改めて参画の意向確認をさせていただく。引き続き、検討に参加いただきたい。また、知り合い等をお誘いいただけるとありがたい。

以上